

第3学年2組
音楽科学習指導案

公開授業 I

場所：第2音楽室

指導者：俣山 恵

1. 題材名 『声で楽しもう』

2. 題材の目標

- 声の響きや重なりに関心を持ち、声を出すことを楽しんで表現する。
- いろいろな声の響きや重なりを味わいながら、様々な発想をもって、工夫して表現する。
- 互いの声を聴き合い、そのよさや面白さに気づき、自分たちの表現に生かす。

3. 研究テーマとの関連

(1) 本題材における「理解を深め、知を創造する」とは

本題材では、自分の声の響きに関心を持ち、様々な声の出し方で即興的に表現することによって、声の響きやニュアンスの変化を味わいながら、声での表現を楽しむことを第一にしている。その際に、身体表現を含む体の使い方を工夫することによって、声の出し方を変化させていき、表現のバリエーションを増やしていくことが「理解を深める」ことであると考えられる。

子どもたちは、いろいろと試行錯誤しながら、即興的に、その場に応じて表現を工夫していくことや、友達と互いの表現を交流させることを通して、そのよさや面白さに気づき、更なる表現に生かしていくことによって、新しい表現方法を獲得していく。そして、より子どもの思いや意図に合う表現に洗練化されていくことが「知を創造すること」であると考えられる。

(2) 学習環境デザインのコンセプト

声を響かせ合い、重ね合い、聴き合い、高め合う、即興的ボイスアンサンブルの授業

本題材では、即興的に声で表現し、友達と声を響かせ合ったり、重ね合ったりするアンサンブル活動を通して、互いの表現を洗練させていくことをねらいとした。よって、コンセプトをこのように設定した。

(3) コンセプトを実現するためのメディア

①声

普段何気なく発している声だが、一人一人違っており、個性や特徴がある。歌唱で既成の曲を歌うときのように音程やリズムに縛られず、誰でも自由に発声し、表現に参加できる活動にし、子どもたちが個性を発揮しながら学び合うことを期待している。

②活動空間

普段会話で声を出すときは、空間や響きに注目することはあまりないと思われる。本題材では、歌唱曲を歌う時とは違い、個人で大きささまざまなニュアンスの声の違いを感じ取らせたいが、音楽室は、音を吸収しやすい空間なので、より声が響きやすく聴き取りやすい環境が必要と考え、廊下や階段を含む踊り場での活動を試みた。特に廊下では、音楽室より友達との距離をより長く取ることができるので、声を遠くに響かせることを意識した活動や、声のキャッチボールを楽しむこともできると考えた。

③友達との協働

本題材の活動は、全て友達との協働なしには出来ない活動である。また、互いの声を聴き合うことによって活動しながら、同時に自分の声も意識できるようにした。聴き合うというのは、単なる受け身ではなく、自分から表現のきっかけづくりも出来るようにも配慮した。友達との協働を通して、一人一人の表現が洗練されていくことを目指す。

4. 学習指導計画（全6時間）

第1次：いろいろな声を出そう…………… 1時間（本時）

- ・ことばまわし
- ・声によるあいまいな拍あそび

第2次：声を聴き合おう…………… 2時間

- ・声当てゲーム
- ・声でフルーツバスケット
- ・声の組み合わせゲーム

第3次：声を重ねよう…………… 3時間

- ・空間を意識し、動きながら声を出す
- ・グループによる声の表現づくり

5. 本時の学習指導

(1) ねらい

互いの声の音色や響きを聴き合い、声を出すことを楽しんで即興的に表現する。

(2) 展開

主な学習活動（・予想される児童の反応）	○留意点 ※評価
<p>1. 前時のアンケートを振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の声は低い気がする。 ・自分の声が好きじゃない人は、そんなに多いんだ。 	<p>○自分の声や、声を出すことについて改めて考え、自分の考えを持たせる。</p>
<p>いろいろな声を出してみよう！</p>	
<p>2. 声のリレーをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の声をしっかり聴かないとつながらない。 ・同じ「あ」でもいろんな出し方があるんだ。 <p>3. 絵本を読み様々な言葉のひびきを知る （『もこもこもこ』『がちゃがちゃどんどん』）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「もこもこ」みたいに、同じ言葉を繰り返すのもおもしろい。 ・似てる言葉も探してみよう。 <p>4. 言葉を決めて、工夫して声を出す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上がって下がってにしてみよう。 ・長くのばそう。 ・○○さんの出し方が面白かった。 <p>5. 振り返りをする</p>	<p>○互いの声をよく聴いて、よかった人を見つけるようにする。</p> <p>○声だけでなく、視線や身振りも交えて声を受け渡すようにする。</p> <p>○読み聞かせをする際は、言葉の抑揚に気を付けて、バリエーションをもたせて読む。</p> <p>○言葉の響きを生かして、高さ、強弱などを工夫させる。</p> <p>※自分の選んだ言葉の響きを生かし、声の出し方を工夫して表現しているか。</p>

